



平成 18 年 10 月 6 日

各 位

東京都港区東新橋一丁目 6 番 1 号
バンダイネットワークス株式会社
代表取締役社長 大下 聡
(コード番号 : 3725)
問い合わせ先
取締役経営企画担当 加藤 栄治
TEL 03-6215-7655

平成 19 年 3 月期中間期（連結・単独）業績予想との差異および 通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間期および通期（連結・単独）の業績予想について、平成 18 年 5 月 9 日付の当社「平成 18 年 3 月期決算短信（連結）」および当社「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 19 年 3 月期中間期（連結・単独）業績予想の修正等

（1）連結（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	6,500	900	530
今回修正 (B)	6,300	500	300
増 減 額 (B-A)	△200	△400	△230
増 減 率	△3.1%	△44.4%	△43.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)	5,950	865	△1,162

（2）単独（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	5,900	900	530
今回修正 (B)	5,900	520	320
増 減 額 (B-A)	—	△380	△210
増 減 率	—	△42.2%	△39.6%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)	5,463	860	△1,101

(3) 修正理由

売上高につきましては、ソリューション事業セグメントにおいて、携帯電話向け技術ライセンスや音楽系モバイルサイトのシステム構築・運営等を行う企業向けソリューションが好調に推移したものの、コンテンツ事業セグメントにおける有料会員数の減少が当社の予想を大きく下回ったこと等により、連結では 6,300 百万円（当初予想比△3.1%）、単独では 5,900 百万円（当初予想比 ー%）となる見込です。

経常利益につきましては、コンテンツ事業セグメントにおける有料会員数の減少による影響およびソリューション事業セグメントにおけるサーバ等先行投資による売上原価の増加等により、連結では 500 百万円（当初予想比△44.4%）、単独では 520 百万円（当初予想比△42.2%）となる見込です。

中間純利益につきましては、上記経常利益の見通し変更の影響とともに、特別利益（投資有価証券売却益）282 百万円および特別損失（投資有価証券評価損）271 百万円の計上により、連結では 300 百万円（当初予想比△43.4%）、単独では 320 百万円（当初予想比△39.6%）となる見込です。

2. 平成 19 年 3 月期通期（連結・単独）業績予想の修正等

(1) 連結（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	13,500	1,900	1,120
今回修正 (B)	13,000	1,150	700
増 減 額 (B-A)	△500	△750	△420
増 減 率	△3.7%	△39.5%	△37.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)	12,521	1,840	△564

(2) 単独（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	12,150	1,900	1,120
今回修正 (B)	11,900	1,150	700
増 減 額 (B-A)	△250	△750	△420
増 減 率	△2.1%	△39.5%	△37.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)	11,607	1,808	△529

(3) 修正理由

売上高につきましては、ソリューション事業セグメントにおいて、携帯電話向け技術ライセンスや企業向けソリューションが引き続き好調に推移することが予想されるものの、コンテンツ事業セグメントにおける有料会員数の減少傾向は緩やかながらも続くことが予想され、連結では 13,000 百万円（当初予想比△3.7%）、単独では 11,900 百万円（当初予想比△2.1%）となる見込です。

経常利益につきましては、コンテンツ事業セグメントにおける有料会員数の減少による影響が大きく、連結・単独ともに 1,150 百万円（当初予想比△39.5%）となる見込です。

当期純利益につきましては、上記経常利益の見通し変更の影響および中間期における特別利益、特別損失の計上により、連結・単独ともに 700 百万円（当初予想比△37.5%）となる見込です。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上